

保健だより

平成31年3月5日発行
大島高校 保健室

自分のからだのこと、どれだけ知っていますか？

勉強も部活も遊びも、全ては健康あってこそ。そして健康管理の始まりは、今の状態を知ることです。

4月から始まる健康診断に向けて、ちょっと先取りで日頃からセルフチェックをしておきましょう。今まで気付かなかった、意外な発見があるかもしれませんよ。

保健室の1年(平成30年4月～平成31年2月)

【保健室利用状況】

(延べ人数)

【出席停止の届け】

今年度保健室を利用した人は2,237人でした。

多かったケガは？

1 擦過傷

2 打撲

3 捻挫

多かった体調不良は？

1 頭痛

2 風邪症状

3 吐き気

この他にも、話をしたり、健康の相談に来る人もいました

来室者が多いのは？

一番多かった月 11月



一番多かった曜日 火曜日

むし歯を治療した人は

75人 / 244人中

まだの人は春休みがチャンスです

【日本スポーツ振興センター災害発生状況】

1申請件数

年度	件数
H28	47
H29	49
H30	38

2学年・男女別発生状況(人数)

	1年		2年		3年		全学年	
	男	女	男	女	男	女	男	女
H29	12	7	15	10	4	1	31	18
	計	19	25	5			49	
H30	5	3	18	6	3	3	26	12
	計	8	24	6			38	

学校災害給付制度（日本スポーツ振興センター災害給付制度）について

学校の管理下(授業中、休憩中、登下校、部活動など)でケガをした場合、その治療費や見舞金の給付を保護者の皆様に対して行う制度です。(保険証を使用して、1500円以上支払った場合に適用されます。)



平成30年度は保健だよりを読んで頂き、ありがとうございました。皆さんのが自分の健康をずっと守り、自己管理していくように、来年度も保健室から情報を発信していきます。平成31年度もよろしくお願いします。



特に病気でもないのに頭痛や腰痛などの体調不良が多い人は、その原因を見つけて、生活リズムを立て直しましょう。

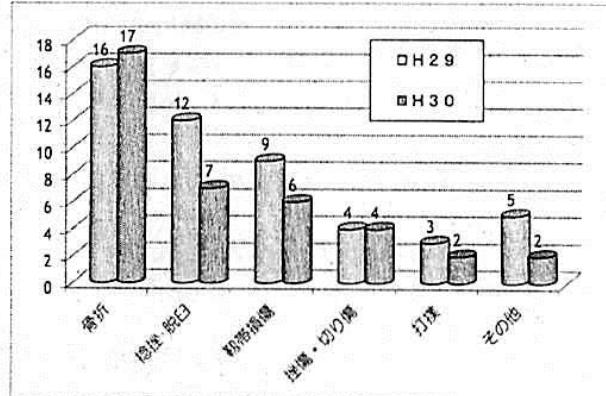
むし歯や虫歯の治療がまだの人、メタニンやコンタクトレンズがあわなくなっている人、春休みは治療や検査のチャンスです。

なんとなくボヤヤキしてしまったり、疲れているなーと感じた人は、思い切って休憩をとって、リフレッシュしましょう。

からだと心のメンテナンスで、新年度を元気よくスタートする準備を整えましょう。

疾患名	届出数	発症期間					
		0	20	40	60	80	100
インフルエンザ	98人	4月 1人	5月 1人	6月 0	7月 0	8月 0	9月 0
		10月 0	11月 1人	12月 2人	1月 81人	2月 12人	
感染性胃腸炎	5人	発症期間：5月1人 7月3人 12月1人					
溶連菌感染症	5人	発症期間：5月2人 6月1人 9月2人					
水痘	2人	発症期間：5月1人 9月1人					
流行性角膜炎	1人	発症期間：11月1人					
マイコラクスマ炎	1人	発症期間：5月1人					
その他	2人	急性咽頭炎 急性扁桃炎 カビや水痘等					

3傷病別発生状況(人数)



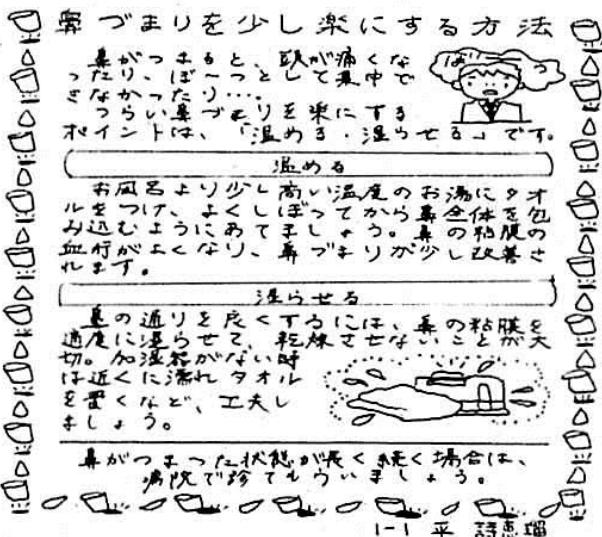
ほんたうの3月

3月3日は耳の日

担当: 1-1 平 1-3 今里、福田 1-4 出見、園 1-6 西 1-7 荒垣、前田

1-7 前田卓奈

1-7 荒垣杏也



同じ気温で「寒い」「暑い」と感じたことがありますか？ 体に当たる空気が増え、空気を

体から奪われ、熱の量も増える。 体も意識して自分の体温と体調に合わせて服装の調整をしてほしい。

1-3 福田卓奈

飛行機での耳の痛みに注意！航空性中耳炎

・航空性中耳炎って？

飛行機着陸時の急激な気圧変化で走る、急小生中耳炎の一一種です。

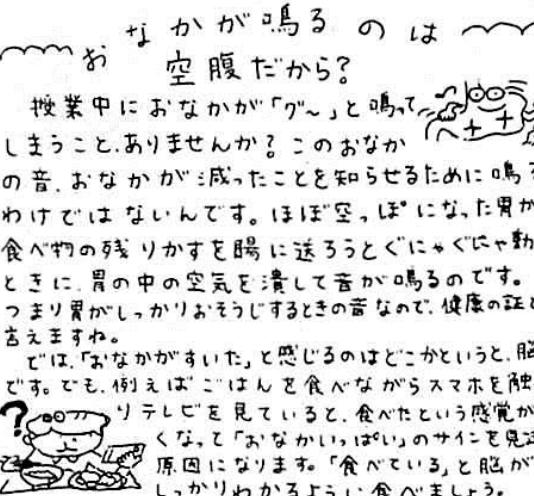
・症状は？

耳が痛くなり、詰まった感じになったり、耳鳴りがしたりします。軽症であれば数分～数時間でおさまりますが、重症だと数週間続くこともあります。

・予防法は？

コップを飲み込んだり、船を舐めたりする効果があります。カゼやアレルギー性鼻炎にかかるいると起きやすいので、飛行機に乗るまでに治療しておくのも大事です。

1年4組出見 蝶



- 特定の人だけを外して別のLINEグループを作り。
- Twitterで友だちを「いいじる」
- 反対を「いいじる」動画を投稿
- 反対の失敗をおもしろおかしくネット上で暴露する。



「このくらいオイシイじゃん」とあなたが思っていたとしても、相手がそれを「嫌だ」と思っているかどうかが大事です。特にネット上への投稿は完全に消除は難しく、取り返しつかないことにならざるを得ないこともあります。
「加害者」になりないよう、普段から想像力を働かせて下さい。 国枝玲香

